

【解説】我々の母なる地球の生い立ちや経歴や、そこに関わる創造の秘密について、ここに語られているようなことを知っていたと言う人は、まずいないであろう。おそらくチャネリングというものが盛んになって、初めて聞いた驚くべき話である。ここに証言しているのは、創造そのものに関与し、誕生以来の地球を熟知している、最高レベルの高次元霊人というべき人々である。我々には、地球が（宇宙全体が）一つの生き物だという認識は漠然とあったとしても、このような生々しく感動的な、人格としての地球の物語は知らなかった。

特に、著者が「美しい」と評する、天使的存在 Elouai の語る、「犠牲的役割」に徹してきた母なる地球についての証言は、聖書や他の聖典のどんな美しく感動的な章句と比べても、引けを取らないだろう。「いかなる惑星も存在者も…」で始まるパラグラフあたりから少しだけでも読んでみていただきたい。我々の地球に対する、そして来るべき「地球再生」に対する考え方が、畏敬と愛と感謝に満ちたものへとガラリと変わるはずである。

## 地球惑星の浄化（『地球再生』Ⅱ 第4章）

おそらく多くの人々が、この惑星を永遠に安定し変わらないものと考えたがり、過去に起きた、また未来に起こるかもしれない断絶には心を閉ざすように、我々の多くはこの地球惑星を、好きなように開発し濫用してもよい無生の対象物として、眺める傾向をも持っている。

しかし“より高い智慧”は、いま地球上でますます受け入れられるようになった見方、つまり母なる地球/ガイアは、生きて感覚をもつ存在であって、我々はこれを尊敬しなければならないだけでなく、その表面で生活させてもらい、進化させてもらうという特権を与えられているという見方を、我々に教えている。

女神である母なる地球、またガイアと呼ばれる存在は、創造する“光の存在たち”の初期の波動に所属する、非常に高度な存在である。彼女が女性形で呼ばれるのは正しく、明瞭に女性としての性格を保持してきた。彼女は、彼女自身の最初の「進化の大サイクル」をすでに完了し、過去の「大宇宙時代」において神のもとに戻された後に、彼女はさらに、より高い仕事を与えられ、地球の肉体に“魂を吹き込む”ことによって「惑星的存在者」になる機会を与えられた。さらに後に彼女は「惑星的ロゴス」の援助を与えられたが、これは通常、高度に進化した魂で、ある惑星の内部と表面で進化する感覚あるすべての生命体と、その惑星に魂を吹き込む存在との、接触を維持する。今まではこれはずっと、**サナト・クマーラ (Lord Sanat Kumara)** の役割であった。彼はもともと金星上でこの仕事をす

るよう訓練され、今の場所へ戻った方である。母なる地球と、鉱物・植物・動物および人間の間、命のつながりを与えたのはこの方である。しかし今、この大きな「時代転換」の時にあたって、彼自身が、やがて宇宙の別の場所の、さらに高い役割のために移動することになっている。

**禅道 (Zen Tao) の先覚の言葉：**——「あなた方が母なる地球、女神ガイアと呼んでいる存在は、非常に強力な存在で、深い智慧と力をもっている。たった一つの呼びかけの言葉によって、彼女は、彼女の存在の性質全体を変えることができる。彼女は、人類がそこから学ぶように、鉱物・植物・動物の惑星的守護者としての、彼女の表面に対する支配権の一部を人類に譲ってきたが、究極的にはガイアが、この惑星とその表面に住むものの性質をコントロールしている。自然が彼女の性質である。

「この惑星は今、ちょうど蛇がその古い皮を脱ぐように、劇的に変化しようとする、進化のサイクルのある時点に差し掛かっている。数千年ごとに、人類がこの地上に肉体を取って存在しているかいないかに関係なく、この惑星はその自然のサイクルの一部として、外面的変容のプロセスを経過する。我々の肉体が7年ごとに入れ替わるように、この惑星も同じようなことをする。これは、この惑星がその存在の創造的・再生的性質を維持するためには、不可欠なことなのだ。だからその決まった時期に、惑星は変容のサイクルを通過する。このとき必然的に、惑星の陸塊の大きな動き、海や湖水の動き、地球の物質の再構成などが伴うことになる。」(Channeled by the Ramala Centre, Glastonbury)

しかし地球惑星が今回、徹底的な清掃（浄化）を必要としているのは、通常のサイクル終末過程の問題以上のものであることを、我々は認識しなければならない。

地球惑星は現在まで、2,600 万年以上もの長い期間にわたって、宇宙の他の部分からの、多くのより若い進化段階の魂たちや、また、もっと多くの攻撃的で破壊的な魂たちを、受け入れる役を果たしてきた。地球は、我々の天の川銀河の内部で、“苛酷な教訓の学校”としてよく知られており、ここは、慈しみや愛というものをもたない、いまだ未発達的情绪中心から生じた、攻撃的で破壊的なすべての性向を解決するための、訓練の場なのである。宇宙の至る所から多くの者たちが、肉体をもつ期間に挟まれた間はより高い霊的地平にいるにもかかわらず、彼らの生来の攻撃的で破壊的な性向を実現しようとして、好んでここへやってきたのである。彼らは、争いに満ちた、苛酷な、遅れた物的世界に住んでいるうちに、〈カルマの法則〉の実現を通じて、結局はこの望みを達成するのである。

また別に、最終的には、十分に意識が目覚めた人間になるための、長い進化の道を出発する、何百万もの若い上昇志向の魂たちもいる。彼らは動物界から上がった後で、最初の基

本的な教訓を学ぶように、地球惑星におかれてきた。ここで彼らは最初に、自分たちの間の紛争を収める社会的技術を学び、環境を開発し、機能する経済制度を創り出さなければならない。そしてここで彼らは、善悪を弁別することを学ぶ最初の機会をもち、時間をかけて〈生命という聖域〉への、最も基本的な敬意を発達させていく。彼ら同士の間で起こった多くの、苦痛に満ちた闘争の人生を経験することによって、彼らは次第に、いつも他者を傷つけ犠牲にすることによって自分の利益を追求しないことの、利点がわかるようになる。彼らは生存が特に難しくなったときに、お互いに殺したり傷つけたりして欲しいものを手に入れるという、彼らの最初の自然の反応を、克服することを学ばされる——とりわけこうした行為が、攻撃した相手から自分自身に直ちに返ってくるようなときには。彼らがよく体験する貧しい経済と環境的な困難は、通常は、彼らが自分たちを社会的・経済的に正しく組織することができない、自己の無能からきている。したがって彼らは、将来の福祉のために、政治と経済という社会的な技術を、発達させるか教えてもらう必要が直ちに生ずる。

より高い霊的な地平から眺めると、地球惑星の周囲のエーテルの内部に、長い時間をかけて発達してきたネガティブな思考の大きな黒雲があって、地球を取り巻いているのが見える。この大きな否定性の黒雲は、この長い宇宙時代の終わりにあたって、人類がそのすべての過去のカルマ（業）を解消し浄化し始めた今、やっと最終的に吹き払われようとしている。とはいえ、これまで十分に組織化されてこなかった人類が地球の表面に残した、あらゆる巨大な損傷、汚染、残り屑の大規模な清掃がいまだに残っている。

**サナト・クマール (Sanat Kumara) の言葉**：——「〈新時代〉が地球上で始まる前に、我々の惑星は、その長年の奉仕の代償として、最低でも、その表面の徹底的な浄化清掃、それに我々の積み重ねた環境的損傷と、今我々を取り巻いている蓄積された**ネガティブな思いの黒い雲**の、除去と回復を望んでいる。

「この大清掃の物理的な現れは、地軸が傾いて惑星が文字通り「奮い立たせられる」ことによって促進されるだろう。このことによって地球の分子たちが拡大して、もっと希薄な、より濃密でない集合体になり、より高い振動率が可能になるだろう。

「地球上にやってくるであろう破壊の原因は、人間自身の思いから来る。元素たち！ 彼らは知性をもつ生物である！ 彼らは無限の一者の一部である。そして無限の一者の一部であるがゆえに、彼らはもはやこれ以上、人間のネガティブな思考に反応しようとしなさい。そして彼らは反逆し、大津波と大風を起こすのである。」 (Channeled by Brother Philip in *Secret of the Andes*, Leaves of Glass Press, Novato, California)

**禅道の先覚の言葉：**——「鉱物界は人間のコントロール下にある。人類はそれ自身の思考形式によって、それ自身の行動パターンによって、鉱物界に影響を与える。人類は、地球惑星上で進化の道を進み続けるつもりなら、この界と協調することができ、またそうしなければならない。しかしあまりにも長く鉱物界は、それがどんなに犠牲になろうとお構いなく、人類の自己目的のために濫用され、荒らされてきたために、この協調は破綻してしまった。人類が現在、惑星の鉱物が動いて、別の音調に合わせて振動しようとする惑星の変容の時期を迎えているのは、まさにこのためである。もし人類がその音調へと変化し、それを認めることができなければ、彼らは滅びるであろう。

「だから、この再生の瞬間が来つつあることに気付かなければならない。変化のタイミングと性格は創造者だけが知っている。人類はこれらの変化に影響を与えることができ、そうするであろうが、彼らはそれが起こるのを防ぐことはできず、そうはならないだろう。人類の試しは、彼らが地球変化を、自然で必要な出来事として、自ら経験することを選んだ出来事として、受け入れるか否かにかかっている。」(Channeled by Ramala Centre, Glastonbury)

地球惑星は、進化段階の低い、より攻撃的で破壊的な種類の人間たちに対して、ほとんど「犠牲的宿主」としての役割を果たしてきたために、彼女はかなりの物理的虐待と汚染を、自分の惑星的身体に蒙ってきている。地球惑星の大きな犠牲の更なる証拠は、**天使的存在 エロウアイ(Elouai)** による次のような美しい証言に見られる：——

「私の愛する人々よ、今日は。私はElouaiです。私は外に現れた物質の〈構築者〉です。私は、あなた方人間の進化線上にある者ではありませんが、あなた方が自然の力と呼ぶものの一つでもありません。私はあなた方の惑星の外に、他の仲間と共に立っています。別の惑星から来た宇宙人でもありません。私の故郷は、宇宙のより高い次元的振動の内部にあります。私はあなた方に、あなた方の地球とあなた方の働きについて私たちが感ずることを伝えたいのです。私の仲間と私は、宇宙に住んでいて、この特定の太陽系を創った〈太陽ロゴス〉の仲間として、遥か昔にここに連れてこられた人々と共にいます。

「私たちはこの〈ロゴス〉の〈太陽領域〉の内部の建築者です。形成されるあらゆる惑星は、生命と成長の、ある動的状態の中にあり、養分となる物質を自分に引き寄せ、同化できないものを排除しています。だから被造世界には、創造過程にあつて、使われていない、統合されていない、未決定で未変容のまま残った、エネルギーの形や現れが存在します。

「すべての生命系においてそうですが、完成と完全な全体性に到達するまでは、〈太陽ロゴス〉の身体には、つまり、存在のあらゆるレベルにおける太陽系とそのすべての惑星には、

“廃棄物”に相当する力とエネルギーが存在しています。これらは将来の創造のための原材料として、変容させ、生命のサイクルの中へ再統合されなければなりません。時間を通して起こる進化運動の中で、この後に残された余り物は、集められ浄化された上で、創造のサイクルの中へ戻されねばならない。それは進化する肉体の中に累積するとか、あるいはタイミング的にも場所的にも場違いな、統合されない別のエネルギー中心となって、そのため悪の源になるようなことがあってはなりません。

「どうか理解していただきたいのは、さまざまな理由で、地球は一時期、あなた方の太陽系のための“純化装置”(purifier)としての特別の役割のために、別扱いされたことです。そこで、私が今言った未決定・未統合の物質、エネルギー、生命の要素が、あなた方の世界に引き寄せられ、物の形態のより濃密な性質に利用されるようになりました。それらのエネルギーは、剥き出しの状態のままでは、太陽の繊細な構造とか、他の惑星やその生命体に、有害な影響を与える力をもっていました——あなたの身体組織の内部の毒物のようなものです。

「しかしそれらは、地球の身体の内部の濃密な物質の中へ閉じ込められることによって、その振動数を低下させられ、その身体全体から遮蔽されるようになり、その結果これらのエネルギーは純化され、全体の中へと調和的に愛をもって再統合することが可能になりました。このことがあったので、Purifiers や Redeemers が地球へやってきました（注：Purifiers とか Redeemers というのは、純化や回復を担当する高次元霊人ではなかろうか？）。また、Purifier や Redeemer になる予定だが、感知されず、おそらくあなた方には想像もできない者たちもいました。地球は、原初の創造と進化の難問に立ち向かって解決するための、訓練の場 (schoolhouse) になりました。

「あなた方の惑星は、多くのレベルの進化の力と、様々の原因による統合されていない生命力やエネルギーのぶつかり合う闘技場 (arena) のようなものになりました。そこには全く原初的なものも、より進化しているものもあるが、すべてが進化の横道に逸脱して、これらのエネルギーは全体的融和の外にありました。このように地球は、太陽系という身体の腎臓のようなものとなり、系全体を通じてエネルギーを調整し変容させ、不純物を除去し、全体の進化に調和し統合されるものだけを、身体全体に戻すということをやっていたのです。退行進化あるいは退化のエネルギーに毒された存在は、地球へやってきて浄化され、全体へと再統合されたのでした。

「このようにしてあなた方の地球は、太陽家族の内部の、すべての生命の流れとすべての惑星システムに対して、おそるべく莫大な奉仕をし、それらがより容易くそれぞれの発展のパターンを継続できるようにしてきたのです。

「いかなる惑星も存在者も、このように自分の身体を使って変容させる犠牲的な仕事を、いつまでもするように求められたことはありません。またそれは許されないことです。そのもの自身の成長パターンと、新しい形の奉仕と発展を、取り上げる時期が来なければなりません。いま地球は、父なる太陽の全身・全生命を通じて起こっている広大な通過儀礼のプロセスにおいて、自分への償いを求めており、それは与えられつつあります。私たち、その発祥の時から彼女に関わりあってきた者たちは、今この時期を、計り知れない美しさと、比べるもののない喜びの時であると見ています。

「原始的で分離的な、更生できない様態の中にいまだに留まっている者たちは、彼らの本来の神的な性質に敬意を払われながら、新しく変容の働きをすることになった他の領域へと、愛をもって移送されるでしょう。いま私たちには、ちょうど結婚を前にした花嫁を美しく着飾らせるように、地球を清め美しくする、純化という大仕事が課せられています。このようにして私たちは、彼女の大きな喜びと達成の時を迎えた地球に、祝いの言葉を贈っています。この出来事は、あなた方の心と頭脳と献身を通じて、その表現を求めているのです。

「地球はいつまでも特別の強さと貢献の場所として留まるでしょう。いま彼女は、変容の手助けをする立場に留まっていたは不可能だった迅速さで、彼女自身の進化を進めなければなりません。このことのために、今この純化の機会をとらえて、太陽の進化との繋がりを維持しようとして肉化する大量の者たち（霊的存在たち）がいます。そうしないと彼らは、長い眠りを眠り続けて、未来のある時期に、未来のある土地で目覚めなければならなくなるのです。」(Channeled in *Links with Space*, published 1970 by Findhorn Press, Findhorn, Forres, Scotland)

来るべき「地球変化」の可能性をいつまでも怖れる人々は、おそらく、果たしてこの遅々たる人間の発達と、地表を覆う汚染と、これほどの貧困や飢餓や果てしない戦争の続く、我々の現在の文明が、本当に継続するだけの価値があるかどうかを、考えてみるべきだろう。より高いレベルからは、人類のアセンションと、我々の銀河で最も自然の美しい惑星の一つとみなされている、この地球惑星の若返りは、実はやってくる大きな喜び事に見えるのである。

**サナト・クマーラの言葉：**——「地球は美しい世界だ。その隣人のいくつかより遥かに美しい。私はいつも地球を他のどんな被造物よりも愛してきた。それはその内部に、いまだかつてエーテル（天空）の中へ逃げ出したことのない、あるメロディーが見えるからだ。私にはそれが、縛られた者のように泣いているのが見える！ しかし、それが天上の

歌を奪われている状態は、これ以上長くは続かないだろう。」

**9人評議会の言葉 (The Council of Nine** とは、宇宙内部のエネルギー・バランスを維持する役目をもつ偉大な存在たちの高いレベルのサークル)：——「あなた方に言っておきたいが、あなた方の地球惑星は宇宙に存在する最も美しいものだ。そこには他のどんな惑星にもない物の多様性がある。他の惑星にない多様な気候がある。宇宙全体の中で、地球惑星のもつような物的特徴をもつ惑星は、他に存在していない。それは最もまれな美しさなので多くの魂たちを惹き付け、一度彼らがやってくると、二度と帰りがらないほどののだ。

「それは他のどんな惑星とも違った性質のものである。それはすべての惑星の様相を備えている——それは宇宙の合成物のようであり、すべてのポジティブな相、すべてのネガティブな相、そしてその中間のすべてを備えている。これが魂たちを惹き付けるものなのだ。そこには他の惑星とは違った重力的牽引力があり、そのために魂は初めて肉体性に引き寄せられるのである。魂たちは彼らの物的身体に適応するようになり、彼らはそれなしに享受していた自由や快楽を忘れるのである… この惑星は濃密な惑星であり、それはそれで違った感じを肉体に与えるが、それは実は個人の魂の内部で経験されるものなのだ。それは痛み、快楽、悲しみ、幸福を感じさせる。物的肉体は、他のすべての惑星におけるもの、また存在する他のすべての魂がもつものとは、異なった感情をもつ。他の太陽系や他の銀河系には、この惑星の濃密さをもたない、他の身体性をもつ人たちがいる。この惑星へやってきた魂は、前に経験したのとは違う感じ方をするようになり、それは“欲望”の感じをもつのである。それは快楽であり苦痛である。にもかかわらず、それはこの惑星の進化的成長のために非常に重要なものになった。なぜならそれは元々〈バランスの惑星〉だったからである。

「地球はパラダイスとなるべく創造された。魂たちが調和を達成するなら、それは再びパラダイスとなるだろう。しかし私たちがパラダイスと言うとき、私たちは創造性のパラダイス、知識をもたらし、喜びと愛をもたらし、そこにいる人々が自分を癒し、あるいは望むなら、苦痛を経験することさえできるパラダイスを意味している。それはすべての困難、すべての成長、すべての苦痛が、取り除かれるようなパラダイスではない。それは人々が自分自身の経験を通じて、自分と宇宙との関係の自分自身の理解を進化させ、自分自身に対する、同胞に対する、地球惑星に対する、したがって宇宙に対する責任を受け止め、そして自己を含めたそれらすべてを、完成へと導くようなパラダイスである。

「あなた方のこの惑星は“バランス”の惑星であり、あなた方は〈物的〉世界と〈靈的〉世界のバランスをとることを学ばねばならない。地球惑星はその種の唯一のもの、全宇宙

で完全な自由選択/自由意志をもつ唯一の惑星、霊的なものと物的なものの“バランスを取る”ために創造された、言い換えれば、“パラダイス”を創造するために創造された、唯一の惑星である。

「人類は内部に腐敗を創り出したが、それは人々が、バランスを試みて理解することよりも、物質（肉体）性により大きく関わったことに起因している。しかし今、あなた方の地球惑星は、過去のどんな時よりもっと急速にバランスを失うかもしれない時点に差し掛かっている。今は全人類がこれを理解し始め、この特別に美しい惑星に霊的・物的な本当のバランスを与えながら、創造者と一体となって生きるべき時である。あなた方の目的はこの被造世界に、真のバランス、愛の発現、創造者との結合を目指して生きることである。

「目覚めの時がきている。今、人々は自己の内部に、地球惑星をその目的達成(fulfillment)へと導く鍵を握っていることを理解すべきである。また〈自由意志〉は決して干渉されないこと、地球惑星の破壊は必然ではないことを理解すべきである。これは明確に理解されなければならない。なぜなら人類の〈自由意志〉こそが、地球惑星に目的達成をもたらすことができるからである。

「地球惑星は変容の入り口にいる。地球は、魂たちとそこに生きる者たちを、彼らが上昇し続け、地球を純化し、宇宙がその道を継続できるように、束縛から解放放とうとしている。地球の魂たちが彼らの現実を最終的に理解したとき、彼らは解放され、宇宙の他の銀河系や太陽系の人々に、教え理解させることができる。今この時に、肉体をもってあなた方の地球惑星に生きているのは、まれな栄光なのだ。(Channeled by Tom, *The Only Planet of Choice*, compiled by Phyllis V. Schlemmer & Palden Jenkins, published 1993 by Gateway Books, Wellow, Bath, Britain)